

令和4年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立山王小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・児童がタブレット端末で作品を撮影して活動のふりかえりや鑑賞学習に使用することで、様々な角度から作品を見つめ、自他の作品のよさを感じることができた。
- ・自分が表現したいイメージにあわせて、画材や用具を自由に選択できるようにすることで、意欲的に取り組むことができる児童が増えた。

(2) 課題

- ・造形的な経験や体験が少なく、指の巧緻性に課題が見られるため、発想を思いのままに表現することが難しい。粘土を練ったり、ひもを結んだりという活動が必要である。
- ・児童が見通しをもって学習を調整し、決められた時間内に作品を完成させることが難しい。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較） *実施なし

(2) 分析（観点別）

① 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○多くの児童は表現したいことに対して、材料や用具を工夫して使うことができる。	○想像力を働かせ、自分なりに工夫しながら表し方を考えたり構想したりしている。一方、完成度の高さを求めすぎて失敗を恐れる児童もいる。	○児童が興味をもって活動に取り組めるように、題材名を工夫したり様々な材料を扱ったりすることで、意欲的に楽しんで取り組む姿が見られた。

② 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○多くの児童は新たに学ぶ道具の活用に意欲的だが、造形的な視点をもって鑑賞することのできる児童が少ない。	○想像力を働かせ、自分なりに工夫しながら表し方を考えたり構想したりすることができる。 ○思い表現するための技能に課題がみられる。	○平面の材料から立体をつくる、身近な材料を加工して作り変えることを、意欲的に楽しみながら取り組んでいる。

③ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○今まで学習した用具や技法を生かして、自分の表現したいイメージを実現できるように試しながら意欲的に取り組んでいる児童	○構想スケッチをかいて、アイデア実現に向けて手順や方法を考えたり、タブレット端末で自分の作品をいろいろな角度から撮影	○自分の作品をよりよくするため粘り強く取り組む児童も多い。しかし、学習の見通しを立ててつくりあげることが難しい児童

が多いが、技能については定着していないこともある。	したりしながら、よさを見つけようとしている。	が見られる。
---------------------------	------------------------	--------

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○造形的な視点について、自分の感覚や行為を通して気づき、手や体全体の感覚を働かせ、表し方などを工夫して創造的につくったり表したりできるようにする。	○題材や材料のことについてクラスで話し合い、イメージをもって活動に取り組めるようにする。 ○言葉で表したり、楽しさを想起させたりしてから表現活動に入り、児童の思いを尊重しながら制作を進められるようにする。	○個々の表現のよさに寄り添い、自信をもって活動できるようにする。 ○児童が興味をもって活動に取り組めるように、題材名を工夫する。製作・鑑賞を意欲的に楽しんで取り組める題材選びをする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○木の工作の用具や彫刻刀の扱いはスモールステップで確認しながら取り組み、安全な使い方を学習させる。 ○身近な作品の造形的なよさを自分の言葉で発表したり、書いたりする活動を取り入れる。	○作品をつくりだす前にためしながらつくる時間をとり、テーマや材料からどんなことができるかイメージを広げられるようにする。	○児童が夢中になって取り組めるような題材選びをする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○今までの学習した用具の扱いや用法を確認しながら、創造的に活用できるよう指導する。 ○作品を見る際に、造形的なよさに触れて鑑賞できるようにする。	○構想スケッチや製作途中の作品をタブレット端末で撮影し、自分自身で手順や表現方法を考えながら製作できるようにする。	○自分の1年間の製作の記録を動画ポートフォリオにまとめることで、完成へのモチベーションを高める。